

高齢者のペット引き取り

お年寄りにも人気のペット。孤独感を癒やすなど、さまざまな飼育のメリットが報告されている。一方で、飼い主が亡くなり、犬や猫が路頭に迷うケースも。行政の対応は不十分で、県内にあるボランティア団体には全国から引き取り依頼が殺到している。

静岡の団体に依頼殺到

た。▽身寄りなく
身寄りはない。七年前に脳梗塞で倒れ、左半身にまひが残る。一時は車いすの生活だったが、十一年前から飼っている大型犬との散歩がリハビリに。「こいつのおかげで歩けるようになった」と思うからこそ、不安が募った。
偶然テレビで知ったボランティア団体、日本ドッグホーム協会(静岡市清水区三保)に電話し、引き取りを依頼。愛犬は七月、協会職員に託された。

病気や入院時の不安解消

▽厳しい運営
協会は二〇〇一年から、入院などの事情で飼えなくなった高齢者の犬や猫を無償で引き取っての対応は遅れている。ペットの世話に介護保険に五十件以上。最近では市町村の福祉担当者からの電話が多い」と代表の白井睦子さん。こうした団体をためらう飼い主もいる。九州や北海道からある自治体職員は「飼い主が亡くなった時、長期入院したりしたら、福祉担当職員らが個人の判断でペットの引き取り手を探しているのが現状。見つからない場合は最終的には処分するしかない」と明かす。
「安易なペット飼育を助長する」といった批判もあるが、白井さんは「現実には困っているお年寄りと協力し、緊急時のペットを撮影した写真付きだ」と指摘。
協会では、ペットの近況を撮影した写真付きだ」と指摘。
飼主に対しては「入院時などにペットの世話をしてくれる人を事前に近所で見つけてほしい」と呼び掛けている。



日本ドッグホーム協会の白井睦子さん。「運営は苦しいが、やめるわけにいかない」と話す＝静岡市清水区

く、お年寄りの心のケアも担っている」と白井さんは話す。
▽深刻化
こうした問題への行政の対応は遅れている。ペットの世話に介護保険に五十件以上。最近では市町村の福祉担当者からの電話が多い」と代表の白井睦子さん。こうした団体をためらう飼い主もいる。九州や北海道からある自治体職員は「飼い主が亡くなった時、長期入院したりしたら、福祉担当職員らが個人の判断でペットの引き取り手を探しているのが現状。見つからない場合は最終的には処分するしかない」と明かす。
「安易なペット飼育を助長する」といった批判もあるが、白井さんは「現実には困っているお年寄りと協力し、緊急時のペットを撮影した写真付きだ」と指摘。
協会では、ペットの近況を撮影した写真付きだ」と指摘。
飼主に対しては「入院時などにペットの世話をしてくれる人を事前に近所で見つけてほしい」と呼び掛けている。

「私たちの活動はペットの命を守るだけだ」
日本ドッグホーム協会は、電話0543(36)5454。